

週日の説教

金 大烈 神父 2011年7月12日(火)

《生き方を改めようとする心 ～平穏な毎日でも、真剣な気持で神様に願ひましょう～》

今日、ミサが始まる前に、フェイスブックに不思議なメッセージが届きました。送り主はオーストラリアの人で、写真を見ると40歳代くらいの格好いい青年でした。

私はオーストラリアに住んでいます。お金儲けのために頑張ってきたので、ある程度のお金はあります。しかし最近、病院から末期の喉頭がんで、余命がいくらもないことを告げられました。それ以来、今までしてきた全てのことが虚しく思え、何が正しいことなのか考えるようになりました。その結果、お金を儲けるために今まで頑張ってきたことは、何の意味もないことだと悟りました。そして、それ以外にも大事なことがたくさんあることに気づきました。

そこで、親しい仲間や親戚、知り合いに頼んで、持っている財産を全部アフリカやブルガリア、それから困っている子どもたちのために、あちこちへ送ることにしました。その仕事は順調に進んでいたのですが、最近、お願いした人々がそのお金を自分のものになっていることが分かりました。また裏切られた感じで悲しくなりました。私のためにお祈りをお願いします。

このような内容の長い手紙でした。できるだけ早く返事をしたほうがよいと思い、「あなたのその痛みにも私も与りたいと思います。あなたの名前を意向として、ミサで覚えます。」という内容と「どうして私のことを知り、このようなメッセージを送ったのですか。」という簡単な質問、そして短い挨拶を書いて返事を送りました。

今日の福音(マタイ11:20-24)は、イエス様のたくさんの奇跡を体験したのにその意味を理解せず、悪い心を持ち、悪い行動をとった人々に、イエス様が腹を立てている物語です。私たちは“一番大事なことは何か、生きる意味は何か、何を求めて生きなければならないのか”分っています。それなのにもかかわらず、普段の生活の中ではいつも忘れてしまい、つまらないことに縛られ、時間を過ごしています。そのような生き方を改めようとする心がなければ、この話のように、イエス様から「ティルスやシドン、ソドムよりも悪い」と言われてしまうのかもしれない。

先ほどの手紙の主のような重い病気の時に神様に願う真剣さが、普段の健康な時にも持てれば、もっと後悔しない人生になるのではないかと思ってみました。

ありがとうございました。